## 平成23年度一般会計当初予算説明資料

### 2款 総務費

2項 企画費

2月 計画調查費

観光政策課(内線:7637)

			(	角	位	٠	千円

(単位:千円)

310

1, 342

1, 260

3, 293

							(+14.	1 1 1/
事業名	本 年 度	前年度	比較	財	源	内	訳	備考
事 未 右	平 中 及	削 十 及	11年	国庫支出金	起債	その他	一般財源	佣石
山陰海岸世界ジオパ								
ークネットワーク推	28, 025	19, 585	8, 440	790			27, 235	
進事業								
トータルコスト 55	797千円	前年度26	, 039千	円) [正職員	: 3. 2	人、非常	勤職員2.0	人]

山陰海岸ジオパーク推進協議会への参画、関西広域連合事務、補助金・委託事業等交 主な業務内容 付事務、普及・啓発事業等の実施 他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を 工程表の政策目標(指標) 促進する

#### 事業内容の説明

## 1 事業の目的・概要

昨年10月、世界ジオパークネットワークへの加盟が認定され、今後、観光面等での産業活用や、 教育現場での活用に繋がる事業等を山陰海岸ジオパーク推進協議会と協力して推進していく。

また、関西広域連合で取り組む広域観光・文化振興分野のうち、山陰海岸ジオパークに係る事務に ついては当県が中心となって担っていく。

# 2 主な事業内容 (1) <u>県単独事業</u>

	争	<b>美</b>	Ŋ	谷		金額
	観光客誘致に					
①山陰海岸	岸ジオパーク涅	日推進補助金	(土産物や飲ん	食品の開発及び	PR経費に対	1, 100
し助成(補	前助率:最大1	/2で市町負	担額が上限)			
②旅行会社	上商品造成推進	委託(現地招	致及び店頭PR	(資料作成経費)		4, 500
2教育活用に	関する事業					
①教員を対	付象とした現地	1研修会の開催				17
②児童· 4	E徒によるジオ	パーク研究発	表会の開催			13
3受入れ体制	の整備に関する	る事業				
①山陰海岸	岸ジオパーク活	5用推進補助金	(市町等が実施	施する受入れ体	制の向上につ	2, 30
ながる事業	どに対し助成	(補助率:最大	1/2で市町負	負担額が上限))		
②鳥取市、	岩美町等のジ	オパークに関	する看板製作等	に対する補助(	補助率1/2)	3, 00
③電動アシ	/スト自転車管	理業務委託(	委託先:岩美町	「観光協会)		
*継続事	事業で、利用料	収入で維持管理	里を行っていた	だくため県の委	託料は不要。	
④外国人	見光客に対応す	「るため、鳥取	砂丘事務所、「	山陰海岸学習館	に計2名の外	4, 63
	ガイド(英語)	を配置。				
4県内外での	PRに関する	事業等				
①山陰海岸	岸ジオパーク沿	5用推進補助金	(市町等が実施	施する山陰海岸	ジオパークの	1, 40
				1/2で市町負		

(2)「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 4,582千円 協議会で実施する主な事業(予算計上予定額30,003千円)

③山陰海岸ジオパーク写真コンクールの開催 (広報課)

ジオパークフォーラム、フェスティバル、キャラバンの開催

④鳥取空港電照看板、ラッピングバスによるジオパークのPR

②旅行作家協会会員など著名人による現地視察及び首都圏等での情報発信

⑤フォーラムの開催やチラシ等印刷による普及・啓発及び学術関係者で組織する

・ボランティアガイド養成講座、交流会の開催

23,443千円

- モニターツアーの実施
- (3) 関西広域連合(広域観光・文化振興分野)併任事務局の業務

平成22年12月に設立された関西広域連合の山陰海岸ジオパークに係る業務は、当県が行うこ ととされており、関係機関と協力、調整を行いながら次の業務を担っていく。

○広域観光ルートの設定

鳥取分会の運営経費

- ○海外観光プロモーションの実施
- 3 これまでの取組状況、改善点

平成22年10月、山陰海岸ジオパークは世界ジオパークネットワークへの加盟が認定された。県 内での認知度については、市町と協力して実施している研修会等により東部地区を中心に高まってき ているが、県外等他の地域への情報発信についても今まで以上に力を入れていく